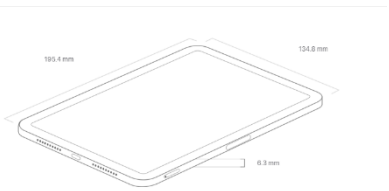


自作教具の活用事例

【作品名】 D r o p T a l k (コミュニケーションツール)	【学校名】 日立市立日立特別支援学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動 学校生活全般	【制作者名】 (根本 正樹)
【制作の意図】 i P a dのアプリ (D r o p T a l k) を活用し、AAC (代替コミュニケーション) として活用する。 人、絵本、依頼文「お願いします」のシンボルを作り、読み上げ機能を使って文として伝えることができる。	【使用の方法】 国語の導入場面で使用する。 1 自分が読んでほしい絵本、読んでもらう教師、依頼する言葉のシンボルを用意し、タップして選択する。 2 再生ボタンを押すと読み上げ機能で友達に伝えることができる。
【制作上の工夫】 シンボル数を必要最低限の数 (9つ) にした。 シンボルにタップすると、拡大するように設定した。	【見取り図】 i P a d Mini 297 ㌢ 
【写真】 枠内にある写真と文字がシンボル。シンボルは、ライブラリの中から使ったり、実態に合わせて作ったりすることもできる。  キャンパスの中からシンボルを選択すると、赤で丸数字が出る。右下の再生ボタン (●) をタップすると順番にシンボルを読み上げる。	【使用効果と応用発展】 国語の授業や学校生活全般で活用できる。 ライブラリ内になるシンボルやシンボルを自作することで様々な場面で活用できる。 読み上げ機能に関しては、マイクで録音したり、音楽を使ったり、スピーチ機能を使い、入力した文字を音声出力することができる。 シンボルを作り替えれば、場面や実態に応じた単語を使い、文として表出することができる。 アプリとしては、スケジュール機能、タイマー機能もあり、学校の様々な場面で活用できる。 また「ストア」の項目をタップすると、フリーで活用できるキャンパスが一覧で提示され、ダウンロードできる。各教科、絵カード、スケジュール、キーボード等様々な場面で活用できる物がある。
【材料・材質・部品等】 i P a d m i n i D r o p T a l k アプリ代 (3,200 円)	【語句説明】 DropTalk : 視覚シンボル「ドロップス」を使って文章を作り、音声を読み上げるアプリケーションソフト シンボル : 人、動物、動き・様子等にジャンル分けされた単語。単語の読み上げができる。 キャンパス : シンボルを割り当てて配置し、音声を出力することで、文章で伝えることができる。